

# -253°C

 **Kawasaki**  
Powering your potential



極低温で液化水素をつくりだす、川崎重工のテクノロジー。

水素をエネルギーとして本格的に利用するには、大量の水素が必要となります。「大量の水素をいかに供給していくか」。

この課題への答えのひとつが液化水素です。水素は、-253°Cの極低温にすることで液化し、体積が800分の1になり大量輸送が可能となります。

川崎重工は、この液化水素を製造するために、産業用としては国内初となる水素液化プラントを開発。

-253°Cという極低温の世界を、超高速で回転するタービンの開発をはじめとした、機器の設計、運転・制御など最先端テクノロジーを結集して実現しました。

川崎重工は、「つくる」「はこぶ」「ためる」「つかう」といった“水素エネルギーサプライチェーン”に必要な、

インフラ技術の開発・製品化に取り組んでいます。水素を安全に、安価に、安定的に取り扱い、

私たちの豊かな暮らしを実現していく道。それが“Kawasaki Hydrogen Road”です。

つくる



未利用資源の活用



液化水素の製造

はこぶ・ためる



液化水素の大量輸送



液化水素の長期貯蔵

つかう



水素ガスタービン発電



燃料電池車の燃料

## Kawasaki Hydrogen Road

水素プロジェクト特設サイト <http://www.khi.co.jp/hydrogen/>

川崎重工業株式会社